

メディカルケアステーション (MCS) について

<これまでの取り組み>

○在宅医療・介護連携推進事業における医療・介護関係者の情報共有の支援にて、平成30年度に医療・介護職間の情報共有やコミュニケーションに関するアンケート調査を実施した。

※アンケート調査結果

- ・介護職から医療職に対して、「敷居が高く連絡しにくい」「医師は多忙のため連絡がつきにくい」
- ・医療職から介護職に対しては、「もっと情報がほしい」「連絡を密にしてほしい」

以上のような意見を多数得られた。医療職と介護職の連携において、密接な情報交換を行いにくい状況があることが示唆された。

○ICTを利用した新たな情報共有・コミュニケーションツールの導入を検討

令和元年度と令和2年度に、メディカルケアステーション (MCS) の試験運用を実施した。

※試験運用での評価結果

MCSは多職種間の情報共有・コミュニケーションツールとして有用であるとの結果が得られた。

○令和3年度以降について

- ・遠賀中間地域在宅医療介護連携推進協議会は遠賀中間地域においてMCSの利用を推奨
- ・事業所ごとに運用ポリシーを作成していただくことが望ましいため、運用ポリシー準則を公開

<MCSについて>

1.MCSとは

- ・株式会社エンブレースが提供するサービス
- ・医療介護専用の完全非公開型SNS
- ・インターネット上のサービスにより、タイムライン形式の情報をいつでもどこでも共有できる
- ・「完全非公開型」という強固なセキュリティ環境のもと、安心かつ手軽に利用できる
- ・導入、維持費が無料
- ・始めるために必要なもの
インターネット環境につながるパソコンやタブレット、スマートフォンなど

2.MCSでできること

- ・患者ごとに多職種チームによる連携ができる
- ・いつでもどこでも空いた時間に連携できる
- ・履歴も患者単位で簡単に読み返しができる

3. 運用フロー

MCS ホームページ <https://www.medical-care.net/html/> を活用。

- ① トップページ→使い方ガイド→基本操作、患者グループの作成や招待、管理者ができることを参照。
- ② 基本操作「スタッフの登録法」と、患者グループの作成や招待「患者グループの作成方法」を確認して、手順通りに行えば患者グループを作成して関係者の招待まで行うことができる。
- ③ その他、できることについて「使い方ガイド」を参照していただく。
- ④ MCS サポートセンターの利用や、在宅総合支援センターへの問い合わせが可能。